

今後の取り組みの方向性の概要

④ 坂出港及び瀬戸内海の魅力を生かしたクルーズ船誘致

- 坂出市の最大の観光資源の1つである瀬戸大橋や周辺の観光スポットを活かし、将来的に多様なクルーズ需要に対応するため、番の州地区におけるクルーズ船受入方策について検討する。

⑤ 坂出港が有する資源を活用した賑わい・交流拠点の創出

- 坂出市街地付近のウォーターフロントに賑わい・交流拠点を導入し、市民がみなとを身近に感じることができ、また、観光客等呼び込むことができる空間の創出に取り組む。
- 坂出港の海辺を活かし、NPO、一般市民等と協力した環境保全や関係企業の協力による産業・文化ツアーの企画等、環境・産業・文化を活かした交流・学習の場及び機会の創出に取り組む。

⑥ 四国の防災拠点港としての機能強化

- 緊急物資及びエネルギー拠点としての機能を発揮するため、官民の関係者が訓練等に継続的に取り組み、坂出港BCP見直し・改善を行うとともに、実効性を確保する。

① 物流機能強化に資する新たな定期航路誘致

- 関東方面への定期RORO航路を誘致し、坂出港背後企業の物流コスト削減、物流の安定化による利用企業の競争力強化を目指す。
- 定期RORO船の就航状況・利用状況を踏まえて、必要な岸壁・シャワーヤードを確保し、更なる利便性の向上を目指す。

④ 坂出港及び瀬戸内海の魅力を生かしたクルーズ船誘致

- クルーズ船の誘致活動やおもてなしの充実、受入環境整備などクルーズ船寄港促進に向けて取り組む。
- 坂出市等の観光資源を活かしたプランの提案により、香川県内・坂出市内観光の拡大に向けて取り組む。

③ 臨海部を有効活用した港湾空間の機能向上

- 港湾機能の再編、市街地付近のウォーターフロントの創出、用地確保、企業誘致など臨海部の有効活用に取り組む。
- 企業誘致に当たっては、四国のエネルギー拠点として、LNGやバイオマス等環境に配慮したエネルギー企業の集積に取り組む。
- 港湾機能の再編に当たり多目的利用による既存施設の有効活用を検討し、異業種間交流・研究開発拠点等、背後産業の高度化・活性化に資する空間の形成に取り組む。

将来像の具現化のための推進体制

- 近隣港湾との連携・役割分担
- 坂出港の振興・発展を継続的に検討する組織の設置

② 物流・生産拠点としての更なる港湾の機能強化に向けたふ頭の再編 (港湾施設の老朽化対策)

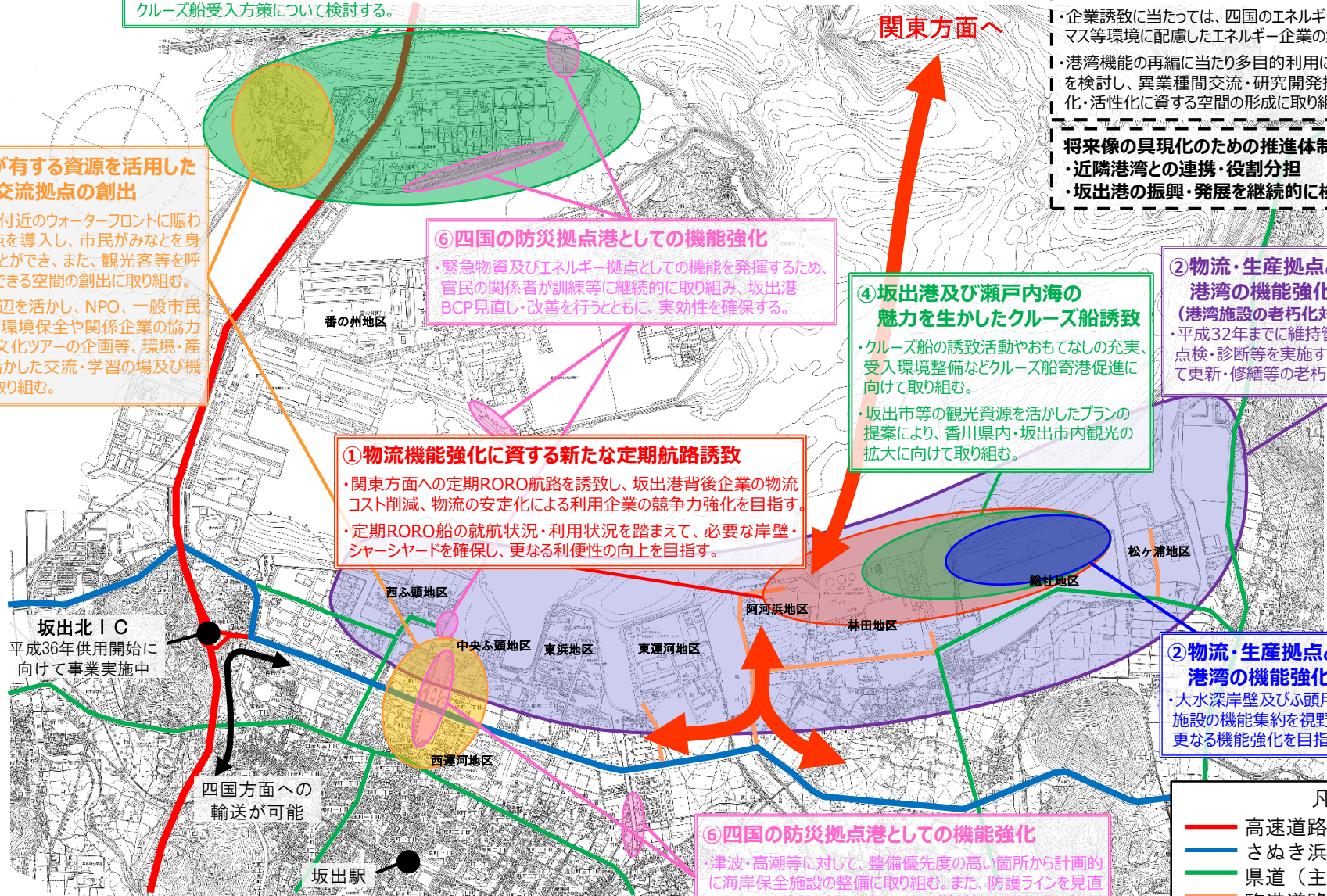
- 平成32年までに維持管理計画を策定し、適切な点検・診断等を実施するとともに、優先度を踏まえて更新・修繕等の老朽化対策を進める。

② 物流・生産拠点としての更なる港湾の機能強化に向けたふ頭の再編

- 大水深岸壁及びふ頭用地の整備と併せて、既存施設の機能集約を視野に入れたふ頭の再編を行い、更なる機能強化を目指す。

凡例

— (赤線)	高速道路
— (青線)	さぬき浜街道
— (緑線)	県道 (主要地方道、一般道)
— (オレンジ線)	臨港道路



⑥ 四国の防災拠点港としての機能強化

- 津波・高潮等に対して、整備優先度の高い箇所から計画的に海岸保全施設の整備に取り組む。また、防護ラインを見直すことにより施設延長を減らす等、維持管理・更新費の抑制も考慮しつつ、効果的な対策を実施する。